

五ヶ山ダム湖面利用協定書及び湖面利用計画書（抜粋版）

五ヶ山ダム湖面利用協定書抜粋（※甲：福岡県 乙：那珂川市）

（湖面利用の危険防止）

第 3 条 乙は、甲が設定している危険区域（網場からダム堤体まで）には立ち入らないよう適切な利用を行うものとする。

（湖面利用の制限）

第 5 条 乙は、次の場合は湖面を利用してはならない。

- 1 気象台から福岡県那珂川町に関する降雨等の注意報、又は警報が発令されているとき
或いは、霧が発生しているとき。
- 2 日没から日の出までの間。
- 3 実施細目に定める監視員がいないとき。
- 4 甲が、五ヶ山ダムの管理上、支障があると認め、乙に通知したとき。

（事故の通報）

第 8 条 乙は、湖面利用により、万一の事故が発生したときは、直ちに救助活動等、その他の適切な処置を講ずるとともに、事故について、速やかに甲に通報するものとする。

- 2 甲がダム管理上必要な事故報告を求めた場合は、書面により提出するものとする。

（費用の負担）

第 9 条 乙は、湖面利用により、甲又は湖面利用者に損害を生じさせた場合、一切の責任を負い、その費用を負担する。

（湖面環境の維持保全）

第 12 条 乙は、湖面環境の維持保全のために必要な施設について、甲の許可を得て設置するとともに、湖面利用者に対し、湖面及び周辺の美化並びに水質保全促進の意識を高揚させるよう指導する。

協定書実施細目抜粋（※甲：福岡県那珂県土整備事務所長 乙：那珂川市）

（湖面利用の危険防止の措置）

第 1 条 乙は、協定書第 3 条に定める湖面利用者の危険防止のため、次の事項を遵守するものとする。

- 1 湖面利用者に対して、常時、救命胴衣を着用させること。

- 2 救助艇は、敏速かつ数名を1度に救助可能なものとし、常時、待機させること。
- 3 湖面利用に先立ち、その都度、事前調査を実施し、安全を確認すること。
- 4 監視員は、湖面利用期間中、常時、監視すること。

五ヶ山ダム湖面利用計画書抜粋

1 利用期間

4月1日から翌年3月31日までとする。

2 利用範囲

別図に示すと通りの範囲とする。

6 不慮の事故（油流出等）に備えた対策

- ② 湖面利用時は、ライフジャケットを着用し、下記の指導員対象の団体が認めた指導員による安全指導を実施する。
- ③ 湖面利用時は、必ず下記の指導員対象団体が認めた指導員（監視員）引率の下、利用すること。
- ④ 湖面利用時は、救命用ボートを常時待機させる。ボート内にはライフジャケット及び油吸着マットを装備する。万一油流出事故が発生した場合は、油吸着マットにより直ちに回収する。
- ⑤ 進入路ゲートは入退場時のみ開場し、それ以外は閉鎖する。イベント等で進入路ゲート以外のゲートを開閉する場合は、事前に河川管理者へ報告する。
- ⑥ 五ヶ山ダム湖面内に設置されている曝気装置には近づかないこととする。

（指導員対象団体）

日本レクリエーションカヌー協会

（一社）日本 SUP 指導者協会

（一社）日本スタンドアップパドルボード協会

（一社）日本セーフティパドルリング協会

湖面利用箇所

